

おしめ乾燥処理実績

平成28年4月～平成29年3月

		焼却量(t)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
平成28年	4月	726	11,570	3,990	17,108	16,000	106.9%
	5月	737	10,020	3,250	15,280	16,000	95.5%
	6月	769	10,690	3,930	15,257	16,000	95.4%
	7月	779	11,550	3,920	17,221	16,000	107.6%
	8月	750	9,890	3,050	15,438	16,000	96.5%
	9月	508	11,850	3,850	18,056	16,000	112.9%
	10月	599	10,460	3,110	16,589	16,000	103.7%
	11月					16,000	
	12月					16,000	
	平成29年	1月					16,000
2月						16,000	
3月						16,000	
合計		4,868	76,030	25,100	114,949	192,000	102.6%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー(若しくは灯油等)を使用する事により、温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。